

## 市内 3 小学校で「Get The Point」のゲームを行いました SDGs について、とてもべんきょうになりました

SDGs 学習ゲーム「Get The Point」が、1 月 19 日向山小学校、2 月 9 日袖ヶ浦東小学校、2 月 19 日大久保東小学校で行われました。国際交流部会が進行を努め、子どもたちは楽しんで SDGs を学んだ授業となりました。学校から届いた感想を紹介します。



SDGs の授業。講師は NIA の関根さん

《担任の先生から》

### ◆向山小学校 5 年担任

社会科や校外学習で「SDGs」という言葉を知った本校の 5 年生。「SDGs」について何となく…の理解しかなかった子どもたちですが、どんなことなのか、もっと知りたいという思いをもっていました。「Get The Point」のゲームのおかげで、“持続可能とは何か”“協力してみんなが幸せになるとはどんなことなのか”など、体験を通して楽しく学習することができました。授業の後日、本やインターネットで真剣に調べる子、自分たちにできることを発表する子など、よい姿がたくさん見られました。

### ◆袖ヶ浦東小学校 5 年担任

SDGs を意識させた「Get The Point」ゲームを経験して、子どもたちの変化を感じました。特に大きく感じたことは、日本という枠組みを越え、世界の現状を知った上で、自分たち自身の生活をより良くしていこうと考えはじめています。例えば、社会科「自然産業について」の学習では、「日本の環境だけでなく、世界ではどのように取り組んでいるのだろうか？」や「自分たちは、環境において自分たちでできることは何か？」など、疑問をもち調べたことから、自分なりに考えていました。子どもたちの考える視点の広がりを感じました。単元の終末にどのような感想が出てくるか今から楽しみです。

### ◆大久保東小学校 4 年担任

ゲームを通して、児童が資源を大切にし、守っていくことの大切さ、そして協力する素晴らしさを学ぶことができたと思います。総合的な学習の時間に SDGs について学んできましたが、この授業を終えて改めて自分にできることを考えることができました。

《児童アンケートから抜粋》

### ◆ゲームをプレイしてみて感じたこと・気づいたこと

・「地球にやさしくしよう！」とか「SDGs 達成に向けてがんばろう！」とか言われてもよくわからないところがあったけど、ゲームをやったらわかりやすく、そして自分がどんなことをすればよいか、わかった。(袖東小)

・資げんをつかひすぎると次の世代につなげないことがわかった。

・みんながゆたかなくらしになるために、みんなで協力したり考えたりすることが大切なことだと分かりました。

・協力すると結果も変わること。

・ゲームではリセットができるけどげんじつではできない。

◆明日からの生活の中で、自分ができそうな SDGs 達成に向けた行動

- ・電気をつけっぱなしにしない。水を出しっぱなしにしない。
- ・給食を残さず食べる。
- ・募金活動をする。
- ・ポイ捨てをしない
- ・海のゴミを減らすために行動したいと思います。
- ・ゴミをしっかりと分べつしてかぎりあるしげんをゆうこうにつかえるようにする。
- ・地域のボランティアにさんかすること。
- ・着れなくなった服を他の子にあげる。

◆SDGs って何？自分の言葉で書いてみよう

- ・みんなが幸せになること。
- ・未来を変える 17 の目標。
- ・地球の環境を守る。
- ・世界がよりよくなるためにひつような目標。
- ・人や国が不公平にならないようにする。
- ・みんなでよいかんきょうや未来をつくっていく。
- ・地球全体の問題を地球を守るために世界中で協力しながら解決するかつどう。
- ・よりよいみらいを作るためにたてられた目標。
- ・地球がなくならないためにみんなで協力すること。
- ・世界で協力して地球のもんだいをかいけつしていくこと。
- ・みんなが一つになって地球の課題に取り組むための目標。
- ・全世界の人が 2030 年までにやるべきこと。
- ・よりよい世界を作るためのとりくみ。

◆ボリビアのお話をきいて感じたこと、気づいたこと（お話はスクウェア 135 号で紹介）

- ・もし自分が貧困の国に生まれていたらどうなっていたのか？
- ・今私たちができることを世界中のみんなでやらなければいけないなと強く感じました。
- ・あたりまえのことでもボリビアの子からしたらあたりまえじゃないからかんしゃしてすごそうと思う。
- ・ぼくたちが幸せにくらしている同じ世界でこんなことが起きていると気づいた。
- ・改めてごみをポイ捨てしてはいけないなと思いました。
- ・世界には、わたしたちみたいに楽しく生活できていない人がいると知ってびっくりした。
- ・自分は学校に行きたくないと思うことも多いですが、そう思えるのがしあわせだということがわかりました。
- ・自分がなにげなくすごしている時間でも、別の国では子どもでもひっしに働いたりくるしい思いをしている人がたくさんいるんだとむねがいたくなりました。
- ・1 人だったらむりなことも世界のみんなでやればできることがわかりました。
- ・自分たちがいま学校にいて、友だちと遊べて、ごはんを食べることがどれだけ幸せかがよくわかった。

◆その他

- ・今日は SDGs のことや姉妹都市のことについておしえていただきありがとうございました。
- ・わたしは今日のじゅぎょうを受けて、みんながびょうどうに生きていけるように自分のでき

ることをやろうと思いました。

- ・ゲットザポイントは楽しかったです。
- ・今 SDGs についてべんきょうしているので、とてもべんきょうになりました。他にもわからないことは調べてみます。